



平成22年7月11日執行

参議院選挙区選出議員選挙公報

石川県選挙管理委員会

自由民主党公認

おかだ直樹 なおき



プロフィール

昭和37年、石川県金沢市生まれ。地元新聞記者や論説委員を務めたが、取材で渡った北朝鮮の独裁や拉致に怒り、政界転身を決意した。浪人して平成14年、石川県議会議員補欠選挙に当選。残り任期1年を助けて県議会の議席を捨て、またもや浪人して16年参院選に当選した。参院外交防衛委員として拉致やテロとの闘いに当たり、国土交通大臣政務官としてソマリア沖、アデン湾の海賊対策に努めた。ふるさと石川発展のため、北陸新幹線などの建設にも力を張る。著書に「憲法改正序曲」。妻と2男。国会最長身の188cm。

民主党政権の暴走に歯止め。

民主党政権の暴走、暴走が目に見えます。鳩山前総理、小沢前幹事長が辞任に追い込まれた政治とカネ、北教組からの不正献金などに対する国民の政治不信は深刻です。特に普天間飛行場の移設問題では沖縄県民を翻弄し、同時に日米同盟を損ねました。経済無策も露呈して「地域不況」が懸念され、事業仕分けを見ても効率至上主義で地方の経済や生活を支える事業を切りまくるなど、地方の景気や雇用は危機に瀕しています。こうした民主党政権に歯止めをかけるには、参院選で私たちが勝利するしかありません。

自由民主党も長年、政権の座にあるうちに

あぐらをかき、あかもたまりました。えりを正して政策を練り直し、国民の信頼を回復しなければなりません。私たち国会議員も、みずから身を削って議員定数削減などの改革を進める必要があります。ふるさと石川県では、環境保全と災害対策に重点を置いた公共投資を行うなど、経済と環境を両立させる政策を実現したいとも考えています。それが日本を救い、石川を守る道だと確信して、わたくしおかだ直樹は全力で闘います。

日本を救い、石川を守る!!

新たななる挑戦!

「地域不況」阻止に全力

「地域不況」を食い止めるため、大胆な景気対策を迫り、経済成長につながる税制抜本改革を唱えます。

「民主独裁」にストップ

民主党政権の誤った「政治主導」や数の力ですべて押し切る強引な国会運営に歯止めをかけ、正常な国政に戻します。

国会議員を大幅に削減

衆参両院議員の定数の大幅減を提案し、二院制の是非も含めた国会のあり方を根本的に見直します。

北陸新幹線を南加賀まで

北陸新幹線の延伸を急いで石川県を活性化し、やがては南加賀から関西までつないで日本海国土軸を形成します。

能登有料道すぐ無料化

格差是正のため半島振興のため、一日も早い無料化を石川県に訴え、国にも補助制度創設を求めます。

日本海側随一の医療県に

高度先端医療から身近な安心の医療まで充実させ、ドクターヘリの導入で救急救命にも力を注ぎます。

伝えよう

あなたの意思を
票に込め

投票日は7月11日(日)

投票時間は午前7時から午後8時まで
(一部投票所を除く)

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは各市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものであり、掲載の順序は石川県選挙管理委員会がくじで決定したものです。

平成22年7月11日執行

参議院選挙区選出議員選挙公報

石川県選挙管理委員会

石川から、
日本の
未来をひらく。

新しい政治を、 前進させる。

昨年の夏、新しい政治の扉が開かれました。
政治をオープンにし、国民参画型の政治がスタートしました。
この改革の灯を絶やしてはなりません。
石川から日本の未来をひらくために、全力で取り組みます。



西原あきら

民主党政調
(51歳)

西原あきらプロフィール
●昭和34年(1959)2月19日、小松市生まれ●苗代小、松陽中、小松高校、慶応大学経済学部卒●三菱商事(株)で4年間、企画・調査部門に所属●その後、国家公務員上級職(甲種1種)合格、郵政省、スイスの国連機関、金沢の北陸郵政局郵務部長、総務省、内閣参事官等を経て退官●民主党石川県総支部連合会副代表、民主党石川県参議院第2区総支部代表

日本の未来をひらく

地域主権、現場主義、政治主導の確立

- 地域主権** 地方が独立自尊の精神のもと、活力と創造性を取り戻せる政治を目指します
- 現場主義** 現場に向き、現場の声を政策に反映する政治を目指します
- 政治主導** 国民の負託を受け、国民に直接責任を持った政治家による政治を目指します

石川の未来をひらく

国際都市、環境都市、文化都市「石川の創造」

- 国際都市創造** 空港・港湾等のインフラを活用、人・物・金・情報の国際交流を促進します
- 環境都市創造** 環境改革に迅速に対応して、新たな産業の芽を創ります
- 文化都市創造** 加賀百万石が育んだ伝統・文化を産業として、全国・全世界に発信します

元気な日本を復活させるため、政治のリーダーシップを発揮します。

開かれた改革の続行を推し進めます

事業仕分けの実施による無駄づかいの根絶を徹底します
行政組織や公務員制度を見直し、透明性のある行政を進めます
住民参加による行政を実現するため地域主権の推進をめざします



国民が自信の持てる日本をつくります

つよい経済、つよい財政、つよい社会保障の一体的建て直しを行います

- つよい経済** 新たな需要と雇用の創出をめざし正面から取り組みます
地域活性化の切り札として観光振興や人的交流の強化に務めます
農林水産業を地域の中核産業として発展させます
- つよい財政** 財政健全化に向けた抜本的な改革に今から着手します
成長戦略を着実に推進し、税収増を図ります
将来に向けた税制の抜本改革に着手します
- つよい社会保障** 社会保障分野で新たな価値と雇用を生み出し成長につなげます
健康大国の実現に向けて、子育てや老後の安心を実現します
支えあいの社会を実現する活動を応援していきます

民主党はさまざまなかたちで「国民の生活が第一」を実現しています。



行動する ACTION! HP <http://nishihara-akira.jp/> 西原あきら
働く政治家でありたい。 投票
絶大なるご支援と一票を心よりお願いいたします。

比例代表は民主党へ

伝えよう
あなたの意思を
票に込め

投票日は7月11日(日) 投票時間は午前7時から午後8時まで
(一部投票所を除く)

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは各市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものであり、掲載の順序は石川県選挙管理委員会がくじで決定したものです。

平成22年7月11日執行

参議院選挙区選出議員選挙公報

石川県選挙管理委員会

③

大企業減税の穴うめ **とんでもない 1世帯16万円負担増**

消費税10%増税ストップ!

民主党政権は公約を破り、今度は法人税減税と消費税増税をセットで打ち出しています。私はきっぱりと反対をつらぬきます。

- 私のお約束**
- 派遣法の抜本改正で、雇用は「正社員が当たり前」に。
 - 医療費の「窓口負担ゼロ」をめざし、まず子どもとお年寄りの医療費をゼロに。
 - 国民健康保険料(税)一人1万円引下げを。
 - 後期高齢者医療制度を即時廃止。
 - 「中小企業憲章」をいかし、機械リース代補助などの緊急支援を。
 - 農産物の輸入自由化ストップ。価格保障・所得補償で、コメ1俵1万8千円に。



プロフィール

珠洲市生まれ。保育園で働き、91年金沢市議初当選(4期)。現在、金沢医療生協理事、原発問題を考える石川女性の会事務局長、党県くらし・子ども福祉相談室長。

近松みき子

ちかまつ

日本共産党

消費税増税に頼らず社会保障を充実

歳入・歳出改革で7兆円~12兆円

財源はここに

- 年間5兆円の軍事費削り、米軍の思いやり予算、無駄な大型事業など廃止。
- 大企業・大資産家には経済力に応じた負担を。

民主・自民がそろって「増税大連立」

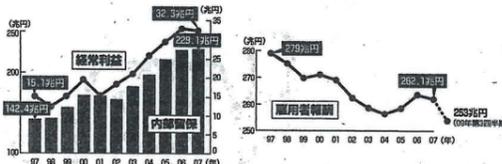
財界の法人税率15%引き下げは消費税増税4%分。これに民主党は応えて、公約発表で「自民党の(消費税率)10%を参考」とすると明言(菅首相・6/17記者会見)。

財界・大企業、アメリカにモノ言える政治を

くらし 応援 中小企業

ごく一握りの大企業が富を独り占めにするシステムを大もとから改革し、経済の軸足を、国民生活中心にきりかえます。

大企業の経常利益と内部留保、雇用者報酬の推移



◆「人間らしい雇用」のルールをつくり、働くものに利益の還元を

この10年で大企業の利益は2倍、内部留保(ためこみ)も1.6倍に急増。労働者の報酬は1割も減(左表)―このゆがみを正し、利益を社会に還元します。

◆大企業と中小企業との公正な取引ルールを

中小企業(従業員5人~29人)の労働者報酬は大企業の5割。大企業による苛烈な下請け単価切り下げが原因―日本経済の根幹・中小企業を本格的に応援します。

自主・自立の 平和外交

「日米合意」白紙撤回、沖縄・普天間基地の無条件撤去!

自衛隊小松基地での日米共同訓練を中止します

参議院選挙の投票は2回あります

比例代表は **日本共産党** とお書きください

伝えよう

あなたの意思を 票に込め

投票日は7月11日(日) 投票時間は午前7時から午後8時まで (一部投票所を除く)

当日投票できない方は、期日前投票ができます。

◎詳しくは各市町選挙管理委員会までお問い合わせください。